

Super GT Rd2 Fuji Race Report 2022/05/03-04



General Comments:

今大会は決勝レースが450kmといつもより150km長いレース。最後まで粘り強く生き残るレースをして最終的にはしっかりと多くポイントを持ち帰れる様にするという事を大前提にし全力で攻めました。

Qualify : P14

今回のQF1も自身が担当する事になりました。
Free Practiceでまずまずな手応えを感じていたの、行けるだろうと思っていました。
そしていざ、全力でアタックへ向かいタイムは1.26.989をマークしました。初めに無線で聞いた時は、「今は4番手だけど他がまだフィニッシュしてないから、少し待って」、と言われ待っていると、最終的には「10番手」と言われかなりショックでした…QF1のカットラインは1.26.769とあと0.2秒程…悔しい思いはありましたが、決勝は450kmといつもより長いので「着実にポジションを上げていこう！」と気持ちを切り替えました。

300km Race : Finished P7

決勝レースのスタートはバゲット選手が担当。
「もうこれは鉄板の作戦だから！」そうチームから言われました。
作戦としては1回目のピットストップを少し早めに行なって、ピットストップでもポジションを上げ行く。アンダーカットを狙って2つか3つポジションを上げる事が出来れば御の字というところでした。
そして、スタートを担当したバゲット選手は序盤からポジションを上げ、完璧なスタートを決めてくれました。
しかし、このまま順調にポジションを上げていってくれると思っていたのですが、コンディションの影響でペースが上がらず10番手に後退してしまいました。バゲット選手には、何とかポイント圏内を維持してもらい我々は予定より早い26周目にピットへ入って自身に交代しました。チームは完璧なタイミングで交代しタイヤ交換をしてくれて、コースへ戻ると8番手にジャンプする事が出来ました。
そして、ポジションをキープしつつ周回を重ねていたのですが、自身のステイントで大きなアクシデントが2回あり赤旗が2回も出てしまいました。最終的には時間の関係でSCのままフィニッシュ。
また、チェッカーは5位で受けたのですが、前でフィニッシュしたライバルがペナルティーを受けた事により3位に繰り上がりフィニッシュ。
決勝レースは非常に荒れたレースとなりましたが、誰も怪我なく終えた事が奇跡だと思います。

ダメージを最小限に



スポンサーの皆様、いつも応援して頂き有難うございます。また、Rd2 Fujiの応援も最後までして頂き有難うございました！今大会の我々にはあまり競争力もなく、そもそも10番手以内に入るのがやっとという様なペースでしか走っていませんでした。そんな中で、チーム全員で力を合わせ戦略・ピットストップ・ドライバーの追い上げにもベストを尽くせた事で3位でフィニッシュする事が出来良かったと思います。また、今大会は2回も赤旗が出てしまうという非常に荒れたレースとなりましたが、観客の皆さんや全ドライバーが無事だった事が何よりです。

次戦は鈴鹿。
かなり接近戦の多い戦いになると思います。
2週間程前に鈴鹿でタイヤテストを行いました、良い手応えを感じていますし、上位争い出来るのではと感じています。
次戦も力強い走りが出る様に努力していきますので、引き続き応援の程、宜しくお願いします！！

